

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成13年2月20日発行(毎月1回 20日発行)  
物 性 研 究 第75巻 第5号

ISSN 0525-2997

**vol.75 no.5**

# 物性研究

**2001 / 2**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 物性研究に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **73** (1999), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷料金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワードプロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

**編集部より**

---

**2001年度「物性研究」会費納入について**

2001年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 76 No.1-6 (2001年4月号～2001年9月号)

Vol. 77 No.1-6 (2001年10月号～2002年3月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、2001年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額9,600円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は2001年3月末までをお願いします。

中止は巻の切れめしかできませんので、2000年度(Vol.75 No.6まで)で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、自動的に継続されますのでご注意ください。

2000年度の会費が未納の方(封筒に未納額を記載)は、早急にお振込くださいますようお願いいたします。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075) 722-3540, 753-7051

Fax. (075) 722-6339

郵便振替口座 01010-6-5312

E-mail. busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

## 編集後記

1年前の狂躁もなく静かに21世紀が明けた様に感じる。物理学の中では100年前のプランクのクリスマスプレゼントに相当するものがあったかどうか、さざ波すら感じないが、実際の処はどうであろうか。

さざ波以下の動きは日常の中で生じる。物性研究の編集長の後退もその一つである。前任者が海外渡航のために私が大任を仰せつかる事になった。もっとも売れ線を狙ってじたばたするつもりはないので編集長の違いが雑誌の個性の変化に繋がるかどうかは分からない。かつて「自然」という優れた一般読者のための自然科学雑誌があったが、「ニュートン」等のビジュアル系の雑誌の台頭のために潰れてしまった。またそれに対応して生き永らえようとした「科学朝日」は得体の知れない読むに値しない雑誌に変化し、昨年廃刊になったと聞く。「ニュートン」自体も手に取る気の起こらない雑誌である。似た様な失敗は朝日ジャーナルの廃刊の際の女性編集長の悪あがきにも感じた。一般向けの科学の紹介という媒体に関してここ20年余りの動きは一方的に後退であったと言わざるを得ず、そうした失敗はない需要を掘り起こそうとした失敗であったと思う。

こうした無駄な動きは大学の再編の際にも感じる。最近、人間環境を唱った大学、学科、研究科の設立広告をしばしば新聞等で見掛ける。言うまでもなくその魁をなしたのは京大の人間・環境学研究科(人環)であるが、その人環は設立後10年を経て改組の動きが急である。元来人環は教養部の片割れであるが、こうした実体のないものへの改組は話をややこしくしただけであった。無論、他大学の追随した動きは必ずや失敗に終わるであろう。そもそも少子化の時代に新しい理解不能な大学や研究科を新設しようとする事自体理解不能である。

京大は懲りもせず、どんどん新しい研究科を作って組織をますます形骸化しようとしている。人環の改組は新研究科設立の構想と無関係ではなかったが、その新研究「科」はこの段階に来て、新研究「堂」になり、専攻のかわりに学房、その下の大講座に相当する組織は学廊という名前を取る。また教育組織は学舎で、他に学林というものもある。この資料は会議の席上で失笑を買ったが、真面目にこういった不可解な組織をこの時期に作ろうとする執行部の動きと京大の先行きに不安を覚える。

新編集長である私はこうした訳の分からない暴走はする能力もなく、そのつもりもない。むしろ悪あがきをしない事をもってこの雑誌の潔さとしたい。

(H. H.)

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

関本 謙 (京大・基研/在フランス)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第 75 卷 第 5 号 (平成 13 年 2 月号) 2001 年 2 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側  
昭和堂印刷所 TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

---

[物性研究]

編集長

早川 尚男 (京大・人環)

編集委員

佐々木 豊 (京大・理・物理)

藤本 聡 (京大・理・物理)

水口 毅 (京大・理・物理)

加藤 将樹 (京大・理・化学)

Manfred Sigrist (京大・基研)

森成 隆夫 (京大・基研)

小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)

本堂 毅 (東北大・理・物理)

佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)

堀田 貴嗣 (東大・物性研)

出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)

山田 鏑二 (信州大・理・物理)

平田 文男 (分子科学研)

倭 剛久 (名大・理・物理)

池田 研介 (立命館大・理工・物理)

関本 謙 (京大・基研/在フランス)

菊池 誠 (阪大・理・物理)

市岡 優典 (岡大・理・物理)

吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第 75 卷 第 5 号 (平成 13 年 2 月号) 2001 年 2 月 20 日 発行

発行人 関 本 謙 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和企業組合 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側  
昭和堂印刷所 TEL(075)721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

**年会費 9,600円**

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

## 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 75-5 (2月号) 目 次

○研究会報告

「第8回『非平衡系の統計物理』シンポジウム」…………… 841

○編集部より

2001年度「物性研究」会費納入について…………… 1096

○編集後記…………… 1097



物 性 研 究 75-5 (2月号) 目 次

○研究会報告

「第8回『非平衡系の統計物理』シンポジウム」…………… 841

○編集部より

2001年度「物性研究」会費納入について…………… 1096

○編集後記…………… 1097